

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (英語分野)

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (英語分野)

学習・基盤教育 教育目標	(α 英語)	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β スポ健)	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ 教養)	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができている。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, ..., 0.4 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
S653006	英作文Ⅰ	天沼 実	聞き取りや発話の練習と有機的に関連させた英作文演習を通して、学校英文法の学習棄却と再学習・発展学習を行い、総合的な英語表現力の向上をはかる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉の仕組みそのものである文法の知識は英語の学習指導や教材理解・研究のための最重要基盤である。本授業では文法を正しく理解し、効果的に運用するための基礎的な素養を深める。</li> <li>中1、高1 英語免許修得のために本学部で定める免許所要の必修単位である。</li> <li>専門教育学習・教育目標のうち特に (A) (C) (D) と深い関連がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校までの学習英文法の内容を正しく理解し、(作文において) 正確に運用することができる。</li> <li>学習指導や教材理解・研究等の教師の視点から学習英文法について考えることができる。</li> <li>学習英文法に基づき、より発展的な文法項目を学び、運用できる力を身に付ける。</li> </ul>	0.1	0.0	0.0	0.4	0.0
S653006	英作文Ⅱ	天沼 実	聞き取りや発話の練習と有機的に関連させた英作文演習を通して、学校英文法の学習棄却と再学習・発展学習を行い、総合的な英語表現力の向上をはかる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉の仕組みそのものである文法の知識は英語の学習指導や教材理解・研究のための最重要基盤である。本授業では文法を正しく理解し、効果的に運用するための基礎的な素養を深める。</li> <li>中1、高1 英語免許修得のために本学部で定める免許所要の必修単位である。</li> <li>専門教育学習・教育目標のうち特に (A) (C) (D) と深い関連がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校までの学習英文法の内容を正しく理解し、(作文において) 正確に運用することができる。</li> <li>学習指導や教材理解・研究等の教師の視点から学習英文法について考えることができる。</li> <li>学習英文法に基づき、より発展的な文法項目を学び、運用できる力を身に付ける。</li> </ul>	0.1	0.0	0.0	0.4	0.0
	オーラルコミュニケーション演習Ⅰ	パンストーク・ブレンデン	英語による発展的なオーラルコミュニケーション力の涵養のために会話や発表、リスニングなどの言語活動による練習を行う。	コミュニケーション重視の英語教育において、口頭運用能力は指導者の不可欠の素養であり、この授業はその基礎と発展を図るものである。	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常的なことや身の回りのことをはじめとして、さまざまな話題について口頭の英語で表現したり意見を述べたりすることができる。</li> <li>授業遂行に最低限必要なクラスルームイングリッシュを問題なく使いこなす口頭運用能力を身に付けている。</li> </ul>	0.2	0.0	0.0	0.4	0.0

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (英語分野)

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (英語分野)

学習・ 基礎教育 目標	(α 英語)	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β スポ 健)	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ 教 養)	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができてい		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.4 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
	オーラルコミュニケーション演習Ⅱ	パンストーク・ブレンデン	英語による発展的なオーラルコミュニケーション力の涵養のために会話や発表、リスニングなどの言語活動による練習を行う。	コミュニケーション重視の英語教育において、口頭運用能力は指導者の不可欠の素養であり、この授業はその基礎と発展を図るものである。	・日常的なことや身の回りのことをはじめとして、さまざまな話題について口頭の英語で表現したり意見を述べたりすることができる。 ・授業遂行に最低限必要なクラスルームイングリッシュを問題なく使いこなす口頭運用能力を身に付けている。	0.2	0.2	0.0	0.4	0.0
	英語音声学	谷 光生	英文による英語音声学の入門書を講読し、英語の音声の諸特徴を把握する。とりわけ発音記号の読み方や表し方に習熟し、イントネーションにも注意を払う。また自身の発音の矯正も行う。	・中1、高1英語免許修得のために本学部で定める免許所要の必修単位である。 ・専門教育学習・教育目標のうち特に(A)(C)(D)と深い関連がある。	・英文で書かれた専門的内容を読み取ることに慣れる。 ・辞書や教科書などで用いられている発音記号の意味を理解する。 ・自身の発音や発声の仕方を客観的に把握する。	0.2	0.0	0.0	0.4	0.0
S686104	現代英語表現法演習	谷 光生	現代英語の諸特徴の中から、興味を持ってそうなトピックを取り上げ、講義・演習形式で学習する。	・コミュニケーション重視の英語教育において、総合的な英語運用能力に長けていることは指導者の不可欠の素養である。この授業は総合的な英語運用能力の発展を図るものである。 ・専門教育学習・教育目標のうち特に(A)と深い関連がある。	・日常的なことや身の回りのことについて不自由なく英語で表現できるだけでなく、学術的、社会的な問題や抽象的な話題などについて論理的に意見を述べ、書くことができる。	0.2	0.0	0.0	0.4	0.0
S683002	現代英語総合演習	天沼 実	英語の終日集中訓練プログラム(Intensive Training Course of English)を受講者がTA(Teaching Assistant)となって自ら企画し、実施する。	・教科である英語を活用した総合的な教育活動の主體的体験は(英語)教員としての実践力育成の一助となる。 ・専門教育学習・教育目標のうち特に(A)(C)(D)と深い関連がある。	・プログラムの企画と実施を通して英語力、英語指導力、企画・運営力、ヒューマンスキルなどを習得または向上させる。 ・教育実習Ⅱへ向けて、教材の選択・作成、言語活動の計画・実施、指示・説明のしかたや学習者へ接し方など、言語学習指導の実践的な側面を体験的に習得する。	0.2	0.0	0.0	0.2	0.1

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (英語分野)

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (英語分野)

学習・基礎教育目標	(α 英語)	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β スポーツ)	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ 教養)	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, ..., 0.4 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
S658008	イギリス文化論	出羽 尚	日本人になじみの深い国でありながら、その実情の知られていないイギリスの文化について、実態を明らかにするとともに、イギリス人とのコミュニケーションが可能となるように、イギリス文化を英語により論ずる。	・イギリス文化を学ぶことで、文化の多様性について理解を深めるとともに、英語の背景文化についての知識を得る。 ・専門教育学習・教育目標のうち特に (A) と深い関連がある。	イギリス文化の実態を知り、イギリス人と意思疎通ができるコミュニケーション能力の基礎を身につける。	0.1	0.0	0.0	0.4	0.1
S659004	アメリカ文化論	米山正文	米国の文化や歴史を多角的観点から概観する。	・米国について学ぶことで、異文化への知識や理解を深める。 ・専門教育学習・教育目標のうち特に (A) と深い関連がある。	米国の歴史・文化について知識と理解力を身に付ける。	0.1	0.0	0.0	0.4	0.0
S650007	英文法演習	天沼 実	英文法など英語研究をテーマとした初歩的な原書読解演習を通じて実践的な英文法運用の訓練と英語の言語学的研究への導入をはかる。	・教科「英語」に関わる免許法指定科目中の英語学・言語学関連の導入的な科目であり、言語の科学的研究に関する基礎的専門知識や方法論習得への入門にあたる。 ・専門教育学習・教育目標のうち特に (A) (C) (D) と深い関連がある。	・ことばや文法をテーマとした導入的な専門文献(原書)を読むことができる。 ・言語の実態に客観的、科学的に接近しようとする態度が身につけている。	0.1	0.0	0.0	0.4	0.0
S650007	英語学演習	天沼 実	英文法など英語研究をテーマとした初歩的な原書読解演習を通じて実践的な英文法運用の訓練と英語の言語学的研究への導入をはかる。	・教科「英語」に関わる免許法指定科目中の英語学・言語学関連の導入的な科目であり、言語の科学的研究に関する基礎的専門知識や方法論習得への入門にあたる。 ・専門教育学習・教育目標のうち特に (A) (C) (D) と深い関連がある。	・ことばや文法をテーマとした導入的な専門文献(原書)を読むことができる。 ・言語の実態に客観的、科学的に接近しようとする態度が身につけている。	0.1	0.0	0.0	0.4	0.0
S654002	イギリス文学演習A	大野直美 (非常勤・担当幡山秀明)	イギリスの文学作品を取り上げる。Reading能力を高め、分析力や洞察力を養う。	・教職教育科目なので将来の英語教員の資質向上に向けた指導と実践を行う。 ・専門教育学習・教育目標のうち特に (A) (C) (D) と深い関連がある。	英国文学を理解するために必要な文化・社会・歴史等の知識を得る方法を学習し、原著で作品に慣れ親しむ。	0.1	0.0	0.0	0.3	0.0
S655009	イギリス文学演習B	大野直美 (非常勤・担当幡山秀明)	イギリスの文学作品を取り上げる。Reading能力を高め、分析力や洞察力を養う。	・教職教育科目なので将来の英語教員の資質向上に向けた指導と実践を行う。 ・専門教育学習・教育目標のうち特に (A) (C) (D) と深い関連がある。	英国文学を理解するために必要な文化・社会・歴史等の知識を得る方法を学習し、原著で作品に慣れ親しむ。	0.1	0.0	0.0	0.3	0.0

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (英語分野)

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (英語分野)

学習・基礎教育目標	(α 英語)	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β スポーツ)	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ 教養)	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2,・・・,0.4 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
S656005	アメリカ文学演習A	幡山秀明	中高の英語教科書関連する文学作品を取り上げる。「物語」「歌」「詩」「映画」「伝記」も含む)を中心に取扱いながら、Reading能力を高め、分析力や洞察力を養う。また、受講生による模擬授業としてteaching plan作成からプレゼンまで行う。	・教職教育科目なので将来の英語教員の資質向上に向けた指導と実践を行う。 ・専門教育学習・教育目標のうち特に(A)(C)(D)と深い関連がある。	日本の中学・高校の英語の教科書内容を吟味しながら、それに関連する英語圏文化や文学につながる事項をピックアップして、実際の授業に直接的、間接的に役立つ情報を集め、理解を深める。語学教育の背景としての豊かな知識を形成する。	0.1	0.0	0.0	0.3	0.0
S657001	アメリカ文学演習B	幡山秀明	中高の英語教科書関連する文学作品を取り上げる。「物語」「歌」「詩」「映画」「伝記」も含む)を中心に取扱いながら、Reading能力を高め、分析力や洞察力を養う。また、受講生による模擬授業としてteaching plan作成からプレゼンまで行う。	・教職教育科目なので将来の英語教員の資質向上に向けた指導と実践を行う。 ・専門教育学習・教育目標のうち特に(A)(C)(D)と深い関連がある。	日本の中学・高校の英語の教科書内容を吟味しながら、それに関連する英語圏文化や文学につながる事項をピックアップして、実際の授業に直接的、間接的に役立つ情報を集め、理解を深める。語学教育の背景としての豊かな知識を形成する。	0.1	0.0	0.0	0.3	0.0
S663117	英語科教育法I a	山野有紀	英語教育についての基礎知識について学ぶ。英語教育の意義・目的、学習指導要領、コミュニケーション能力、指導方法の基礎について理解する。授業は講義、ディスカッション、タスクの組み合わせにより進める。	・英語科教員免許取得には必修の専門教育科目になる。英語教育法の基礎について理論と実践から学び、英語でのコミュニケーション能力を育てる指導力の基礎力を養う。 ・専門教育学習・教育目標のうち特に(A)(C)(D)(E)と深い関連がある。	・英語教育の基礎知識について理解する。 ・指導案や授業展開の仕組みなど、指導法の基礎について理解する。	0.1	0.0	0.0	0.2	0.1
S663125	英語科教育法I b	山野有紀	第二言語習得理論の基礎について学び、指導方法、評価方法などについて、理論と実践からの基礎を養う。授業は講義、模擬授業実践、振り返り、ディスカッションの組み合わせにより進める。	・英語科教員免許取得には必修の「英語科教育法I a」に続く専門教育科目になる。模擬授業実践、その振り返りをグループディスカッションを通して行う。英語でのコミュニケーション能力を育てる指導の基礎力を養う。 ・専門教育学習・教育目標のうち特に(A)(C)(D)(E)と深い関連がある。	・英語科教育の基礎知識について理解を深める。 ・指導方法、評価についての基礎的な知識・技能を修得する。	0.1	0.0	0.0	0.2	0.1

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (英語分野)

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (英語分野)

学習・ 基礎教育 目標	(α 英語)	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β スポ 健)	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ 教養)	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができてい		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.4 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
S664008	英語科教育法Ⅱ	渡辺浩行	「英語科教育法Ⅰa, Ⅰb」の履修が前提の授業である。指導の基礎力の充実、応用力の養成をめざし、とりわけ、教育実習Ⅱにおける生徒への実際の指導を考慮した授業内容である。	・授業案作成、(補助)教材・ワークシート作成準備、授業マネジメント、学習者へのフィードバック、授業・学習者評価等の観点から、英語授業の指導力、指導技術を緻密に練り上げ、教育実習での実践を裏打ちする授業力の養成をめざす。 ・専門教育学習・教育目標のうち特に (A) (D) (E) と深い関連がある。	・模擬授業での振り返りを中心に、特に以下の指導力・指導技術を身につける。 ・事前に用意したものととらわれない、学習者の反応に合わせた柔軟な授業力 ・学習形態(クラス全体、個別、ペア、小グループ)の適切な選択と有効な組み合わせ ・「学習者への働きかけ」「学習者の反応へのフォロー・アップ」に必要な英語コミュニケーション能力	0.1	0.0	0.0	0.2	0.1
S665004	英語科教育法Ⅲ	渡辺浩行	「英語科教育法Ⅰa, Ⅰb」「英語科教育法Ⅱ」の履修が前提の授業である。指導の基礎力の定着、応用力の発展をめざし、教育実習Ⅱの経験を取り込んだ授業内容である。	・教科「英語」の目標を確認し、カリキュラム、シラバス、単元、教材、1時間の授業内容・方法、評価、学習者、授業者をマクロとミクロの両面で考察する。その中心はあくまでも学習者であり、コミュニケーション重視である。その考察は履修者各自の教育実習Ⅱの経験を踏まえ、小グループで行う。それを模擬授業の組み立て・振り返りに生かし、一人ひとりの授業力の向上を図る。 ・専門教育学習・教育目標のうち特に (A) (D) (E) と深い関連がある。	・マクロ、ミクロの観点で英語授業への認識を深め、模擬授業に取り組みながら、以下の点を身につける。 ・教科「英語」の目標に照らした、1時間の授業のあり方が展開できる。 ・授業作り、授業の振り返りにあたり、常に学習者中心、コミュニケーション重視の姿勢を保つことができる。 ・Reflective teachingの継続実践に向けた、授業分析力、授業改善力、そのための自己啓発力を養う。	0.1	0.0	0.0	0.2	0.1
	英語学特殊講義A	谷光生	理論言語学の基礎を講義する。主として現代英語からの具体例を用いる。	・英語教育専攻の選択専門科目の一つとして、中高の英語教員に必要な理論言語学の基礎的知識を授ける。 ・専門教育学習・教育目標のうち特に (A) (B) (C) と深い関連がある。	・英語学関連の専門文献を読む力を養う。 ・学校文法に対する批判的かつ発展的知識を養う。 ・自身の言語運用を客観的に捉える。	0.1	0.0	0.0	0.4	0.2
	英語学特殊講義B	谷光生	理論言語学の基礎を講義する。主として現代英語からの具体例を用いる。	・英語教育専攻の選択専門科目の一つとして、中高の英語教員に必要な理論言語学の基礎的知識を授ける。 ・専門教育学習・教育目標のうち特に (A) (B) (C) と深い関連がある。	・英語学関連の専門文献を読む力を養う。 ・学校文法に対する批判的かつ発展的知識を養う。 ・自身の言語運用を客観的に捉える。	0.1	0.0	0.0	0.4	0.2

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (英語分野)

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (英語分野)

学習・基礎教育目標	(α 英語)	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β ポ健)	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ 教養)	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができている。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.4 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
S666108	英語学特殊講義C	天沼 実	理論言語学(形態論, 統語論, 意味論, 語用論)の基礎を講義する。主として現代英語からの具体例を用いる。	・英語教育専攻の選択専門科目の一つとして、中高の英語教員に必要な理論言語学の基礎的知識を授ける。 ・専門教育学習・教育目標のうち特に(A)(B)(C)と深い関連がある。	・理論言語学の基礎的知識を養う。 ・学校文法の批判的かつ発展的知識を養う。 ・自身の言語運用を客観的に捉える。	0.1	0.0	0.0	0.4	0.2
S674003	イギリス文学史	市川裕見子	古代、中世から現代にわたるイギリス文学史を概観します。	・教員養成の観点から、必要な教養として、または専門の研究に必要な基礎知識として役立ててください。 ・専門教育学習・教育目標のうち特に(A)(B)(E)と深い関連がある。	イギリス文学の生成、発展、消長をイギリスの文化、歴史、社会的背景のなかに位置づけ、理解できる。イギリス文学を味わう素養を身につける。	0.1	0.0	0.0	0.3	0.2
S673007	アメリカ文学史	幡山秀明	アメリカ文学史上代表的な作家と作品を精選し、その歴史的社会的意義や価値について講義する。	・教員養成の観点から、英語教科書に散見する文化的・文学的情報を歴史の枠組みの中で整理し、現代社会や人間の問題を考察する。 ・専門教育学習・教育目標のうち特に(A)(B)(D)と深い関連がある。	この文学史は、文学や文化に関する様々な情報を体系的に位置付け、さらに、それを現在の社会や人間の問題を考察する糸口にしていく。アメリカの植民地時代から第二次世界大戦後、今日までを概観し、それぞれの時代の文学作品の特徴について紹介する。異文化理解のために断片的で無秩序な情報を体系的に理解する枠組みを形成する。	0.1	0.0	0.0	0.3	0.2
S674003	英米文学特殊講義A	幡山秀明	アメリカ文学史上代表的な作家と作品を精選し、その歴史的社会的意義や価値について講義する。	・教員養成の観点から、英語教科書に散見する文化的・文学的情報を歴史の枠組みの中で整理し、現代社会や人間の問題を考察する。 ・専門教育学習・教育目標のうち特に(A)(B)(D)と深い関連がある。	この文学史は、文学や文化に関する様々な情報を体系的に位置付け、さらに、それを現在の社会や人間の問題を考察する糸口にしていく。アメリカの植民地時代から第二次世界大戦後、今日までを概観し、それぞれの時代の文学作品の特徴について紹介する。異文化理解のために断片的で無秩序な情報を体系的に理解する枠組みを形成する。	0.1	0.0	0.0	0.3	0.2
S677002	英米文学特殊講義B	幡山秀明	文学作品を読みながら、その芸術的価値について論じる。	・英語による芸術作品を理解することは、英語教育に大きな力を与える。 ・専門教育学習・教育目標のうち特に(A)(B)(D)と深い関連がある。	英語の文学作品の分析と鑑賞ができることを目指す。	0.1	0.0	0.0	0.3	0.2

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (英語分野)

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (英語分野)

学習・基礎教育 目標	(α 英語)	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β ポ健)	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ 教養)	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, ..., 0.4 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
S679005	英米文学特殊講義C	幡山秀明	文学作品を読みながら、その芸術的価値について論じる。	・英語による芸術作品を理解することは、英語教育に大きな力を与える。 ・専門教育学習・教育目標のうち特に (A) (B) (D) と深い関連がある。	英語の文学作品の分析と鑑賞ができることを目指す。	0.1	0.0	0.0	0.3	0.2
	英語科教育法特殊講義A	山野有紀	英語教育指導法について、理論と実践から学びを深める。指導法、評価法について探求するとともに、教室における具体的な問題解決に対する実践的能力を養う。	・英語教育専攻の選択専門科目の一つとして、英語教員に必要な英語でのコミュニケーション能力を育てる指導力を養う。 ・専門教育学習・教育目標のうち特に (A) (C) (D) と深い関連がある。	・英語教育に関する発展的知識と実践力を身につける。 ・授業展開や学習活動の工夫、指導の工夫について理解を深める。	0.1	0.0	0.0	0.2	0.1
	英語科教育法特殊講義B	山野有紀	小・中・高の英語教材研究、教材開発に関する学びを深める。	・英語教育専攻の選択専門科目の一つとして、英語教員に必要な英語でのコミュニケーション能力を育てる指導力を養う。 ・専門教育学習・教育目標のうち特に (A) (C) (D) と深い関連がある。	・英語教育に関する発展的知識と実践力を身につける。 ・教材研究・開発に関する理解を深める。	0.1	0.0	0.0	0.2	0.1
	英語科教育法特殊講義C	山野有紀	小・中・高等学校の授業分析を通じて、授業研究力の育成を図る。	・英語教育専攻の選択専門科目の一つとして、英語教員に必要な英語でのコミュニケーション能力を育てる指導力を養う。 ・専門教育学習・教育目標のうち特に (A) (C) (E) と深い関連がある。	・英語教育に関する発展的知識と実践力を身につける。 ・授業分析力と授業研究力を養う。	0.1	0.0	0.0	0.2	0.1
	英語研究セミナーA I	幡山秀明, 谷 光生, 山野有紀	英語学、英米文学、英語科教育の各分野において、4年次の卒業論文作成を見据え、調査・研究方法や論文作成の基本的知識・技能の学習、基本文献の講読などの演習を行う。	・英語教育についての意識を高めつつ、各自の専門テーマについて卒業論文の準備をする第一段階の専門教育科目である。自ら設定する課題について当該分野の知識・技能と方法論を身に付け、解決に向けて主体的に取り組む。 ・専門教育学習・教育目標のうち特に (A) (B) (D) に深い関連がある。	英語学、英米文学、英語科教育の各分野において、卒業論文作成に必要な基本文献を読みこなすことができる。卒業論文作成に必要な、調査・研究方法を学ぶ。論文作成の基本的知識・技能を修得する。	0.1	0.0	0.0	0.2	0.3

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (英語分野)

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (英語分野)

学習・基礎教育目標	(α 英語)	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β スポーツ)	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ 教養)	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができている。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, ..., 0.4 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
	英語研究セミナーA II	幡山秀明, 谷 光生, 山野有紀	英語学、英米文学、英語科教育の各分野において、「英語研究セミナーA I」を踏まえ、調査・研究や論文作成の方法などについての知識や技能を高めるとともに文献講読などの演習をすすめるとともに、卒業論文を見据えた個別の具体的な課題についても取り組みを深める。	・「英語研究セミナーA I」を踏まえ、各自の課題の主体的解決に向けて専門の知識・技能と方法論の実践力を更に深める科目である。 ・専門教育学習・教育目標のうち特に (A) (B) (D) に深い関連がある。	英語学、英米文学、英語科教育の各分野において、卒業論文作成に必要な、調査・研究方法についての知識や技能が高まる。各自の設定する課題について、各分野の知識・技能と方法論を学ぶ。課題解決に向けて主体的に取り組めるようになる。	0.1	0.0	0.0	0.2	0.3
	英語研究セミナーB I	幡山秀明, 谷 光生, 山野有紀	英語学、英米文学、英語科教育の各分野において、4年次の卒業論文作成を見据え、調査・研究方法や論文作成の基本的知識・技能の学習、基本文献の講読などの演習を行う。	・英語教育についての意識を高めつつ、各自の専門テーマについて卒業論文の準備をする第一段階の専門教育科目である。自ら設定する課題について各分野の知識・技能と方法論を身に付け、解決に向けて主体的に取り組む。 ・専門教育学習・教育目標のうち特に (A) (B) (D) に深い関連がある。	英語学、英米文学、英語科教育の各分野において、卒業論文作成に必要な基本文献を読みこなすことができる。卒業論文作成に必要な、調査・研究方法を学ぶ。論文作成の基本的知識・技能を修得する。	0.1	0.0	0.0	0.2	0.3
	英語研究セミナーB II	幡山秀明, 谷 光生, 山野有紀	英語学、英米文学、英語科教育の各分野において、「英語研究セミナーB I」を踏まえ、調査・研究や論文作成の方法などについての知識や技能を高めるとともに文献講読などの演習をすすめるとともに、卒業論文を見据えた個別の具体的な課題についても取り組みを深める。	・「英語研究セミナーB I」を踏まえ、各自の課題の主体的解決に向けて専門の知識・技能と方法論の実践力を更に深める科目である。 ・専門教育学習・教育目標のうち特に (A) (B) (D) に深い関連がある。	英語学、英米文学、英語科教育の各分野において、卒業論文作成に必要な、調査・研究方法についての知識や技能が高まる。各自の設定する課題について、各分野の知識・技能と方法論を学ぶ。課題解決に向けて主体的に取り組めるようになる。	0.1	0.0	0.0	0.2	0.3
S699006	卒業論文	幡山秀明, 谷 光生, 山野有紀, 天沼実	英語科教育学、英米文学、英語学を主な分野として、卒業研究の主題や計画に応じ、文献講読や課題演習、研究発表などを通じた研究・論文作成指導を行う。	・英語教育専攻に関わる教職・教科の知識・技能、専攻専門分野の理解・探究などの統合を図る。 ・専門教育学習・教育目標のうち特に (A) (B) (D) に深い関連がある。	主として英語科教育学、英米文学、英語学の各分野のなかから、卒論の主題となる課題を見つけることができる。自ら設定した課題の解決に向けて必要な、調査・研究方法を修得する。自らの課題とその解決に向けての調査・研究の過程・結果を論文にまとめることができる。	0.1	0.0	0.0	0.3	0.2